

令和7年度

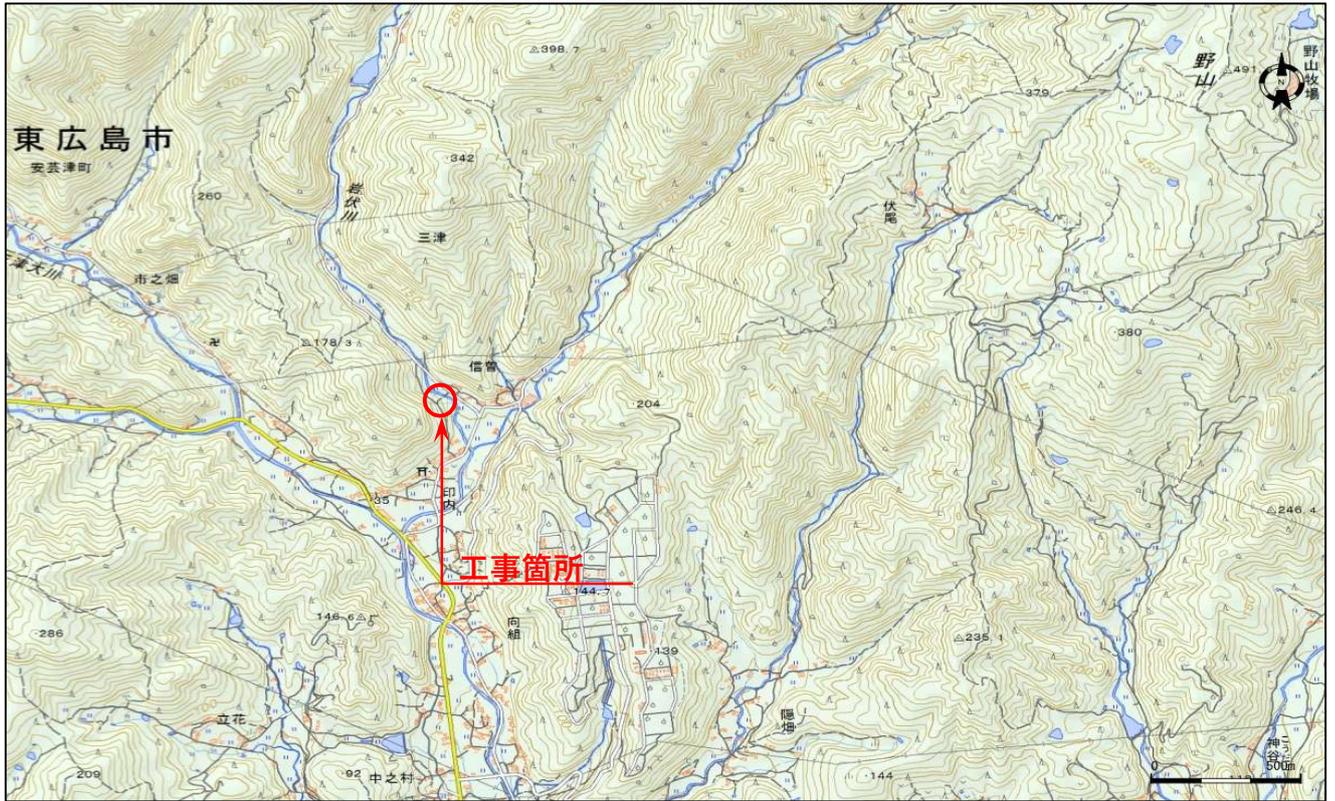
土木施設災害復旧事業

安芸津地区災害復旧工事(7-7)

仕様書

施 工 場 所 東広島市安芸津町三津

【広域図】



【詳細図】



特記仕様書

(安芸津地区災害復旧工事 (7-7))

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム (受注者希望型)
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法
10. 遠隔地からの建設資材を調達する場合の積算方法
11. 主任 (監理) 技術者及び現場代理人の配置について
12. 法定外の労災保険の付保
13. 週休 2 日適用工事等
14. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等

第3章 施工条件

1. 工程
 - (1) 関係機関との協議
2. 用地
 - (1) 現場の復旧
3. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
4. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土 (工事内流用)
5. 建設副産物
 - (1) 建設発生土 (搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地)

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 仮設工

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県）」及び東広島市制定の第15編下水道編（最新版）に基づいて実施しなければならない。この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の

40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書(令和6年8月)広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあつては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム(受注者希望型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(受注者希望型)である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)

<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあつては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあつては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正值を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正值を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正值（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正值の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の次に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施に当たって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書・土地改良事業等請負工事積算基準・森林整備保全事業設計積算要領の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更を行う。
営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上げ費
（宿泊費、借上げ費については労働者確保に係るものに限る。）
労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
- (2) 本工事における実績変更対象費の割合は次のとおりである。

- 1) 共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費（労働者送迎費、宿泊費、借上げ費）の割合【土木施設災害復旧事業：17.81%】
- 2) 現場管理費に占める実績変更対象費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合【土木施設災害復旧事業：2.14%】

- (3) 受注者は、実績変更対象費の割合を参考にし、工事着手までに実施計画書を作成し、監督職員に提出する。なお、実施計画書には根拠となる資料を添付すること。
- (4) 最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績報告書及び実績変更対象費について実際に支払った全ての証明書類（領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については設計変更の対象としない。
- (6) 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準書・土地改良事業等請負工事積算基準・森林整備保全事業設計積算要領に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。
- (7) 受注者から提出された資料に疑義の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

10. 遠隔地からの建設資材を調達する場合の積算方法

建設資材及び仮設材については、調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達をせざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票の写し等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

「調達地域等」とは、建設資材にあつては、広島県土木工事設計資材単価表及び広島県農林土木用資材単価表で示す地区、又は地区の指定がない場合は広島県内を言い、仮設材にあつては、土木工事標準積算基準書（広島県）第X編 参考資料 第2章 工事費の積算 1)間接工事費 1)-1共通仮設費 1 運搬費

(4)リース器材 の運搬で示す仮設材が所在すると推定される場所又は大手リース業者基地等をいう。

11. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

12. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

13. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」又は「東広島市週休2日適用工事等実施要領（農林工事）（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

14. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」

については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出ししないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
鋼材	異形棒鋼	
その他	レディーミクストコンクリート	
	種子・肥料	

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
鋼材	異形棒鋼	
その他	レディーミクストコンクリート	
	種子・肥料	

第3章 施工条件

1. 工程

(1) 関係機関との協議

施工時期、施工方法等を関係機関等と協議を行い施工すること。

2. 用地

(1) 現場の復旧

工事用道路として使用した土地は、原形復旧すること。なお、工事期間中、現地の鉄柵を取り外す場合は工事用道路外に柵を設置し、工事終了後に原形復旧を行うこと。

3. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

4. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、 9m³(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

5. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

(名称)	株式会社中岡建設リサイクルプラント
(所在地)	東広島市安芸津町木谷1218-7
(運搬距離)	5.3 k m

第4章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当たっては、広島県制定「写真管理基準(令和6年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳と原本(電子媒体)を各1部提出する。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 仮設工

仮設工(任意)については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
道路改良		式	1	レベル1
道路土工		式	1	レベル2
法面整形工		式	1	レベル3
法面整形(盛土部)		m2	10	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
土砂等運搬	砂質土	m3	9	レベル4
残土等処分	砂質土	m3	9	レベル4
法面工		式	1	レベル2
植生工		式	1	レベル3
張芝	ワラ芝	m2	10	レベル4
床版工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘り	砂質土	式	1	レベル4
埋戻し	砂質土	式	1	レベル4
埋戻しコンクリート	ck=18N/mm2	式	1	レベル4
床版工	L8900 × B2000	式	1	レベル3
場所打床版工	L8900 × B2000 ck=24N/mm2	枚	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
橋台工		式	1	レベル3
A1橋台 (FIX)	H=1.65m ck=18N/mm2	基	1	レベル4
A2橋台 (MOV)	H=1.65m ck=18N/mm2	基	1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
工事用道路工		式	1	レベル3
敷鉄板		式	1	レベル4
敷砂利		式	1	レベル4
土のう		式	1	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
土砂等運搬	砂質土	式	1	レベル4
残土等処分	砂質土	式	1	レベル4
** 直接工事費 **				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
仮設材運搬費		式	1	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2

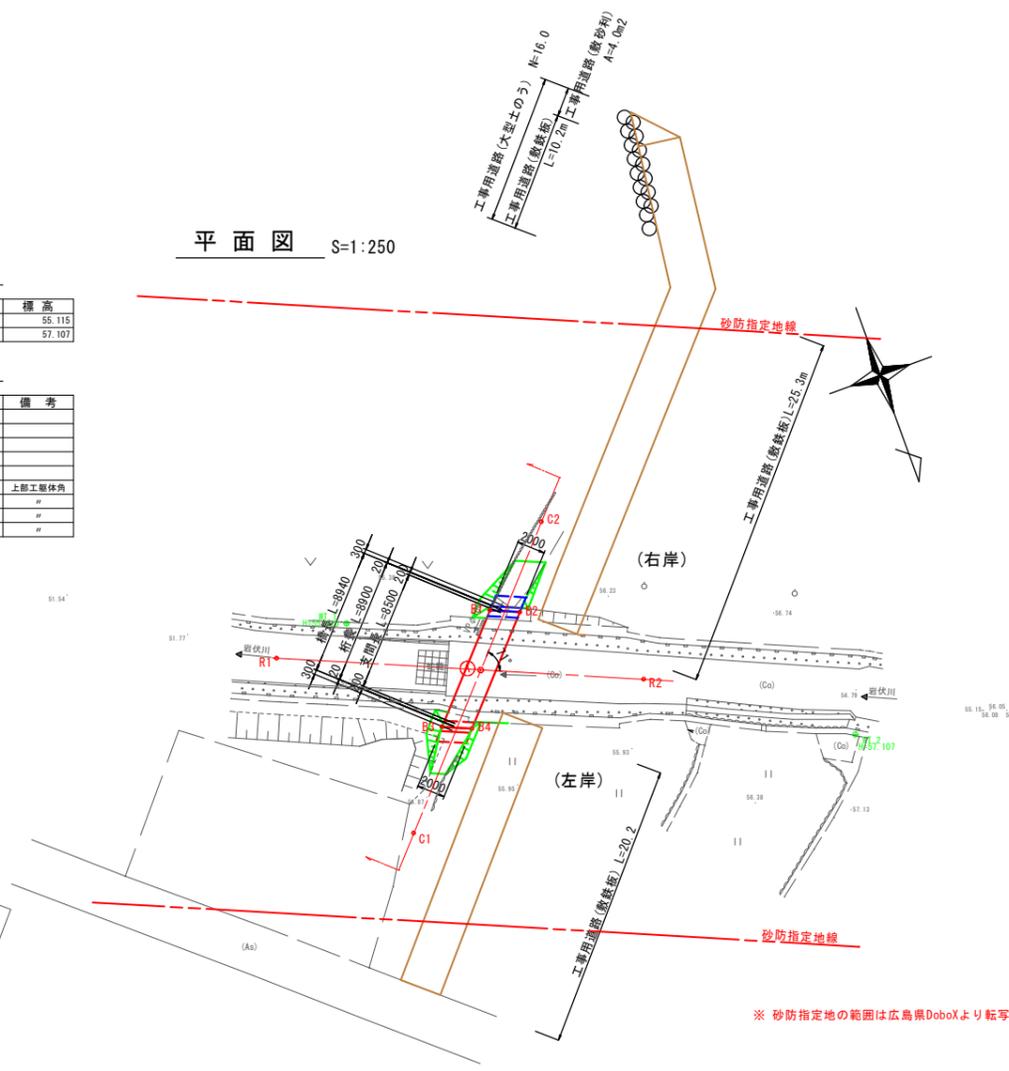
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
技術管理費		式	1	レベル3
簡易支持力確認試験費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費計 **				
** 契約保証費計 **				

点名	X座標	Y座標	標高
WT.1	-183743.958	59736.042	55.115
WT.2	-183724.263	59704.884	57.107

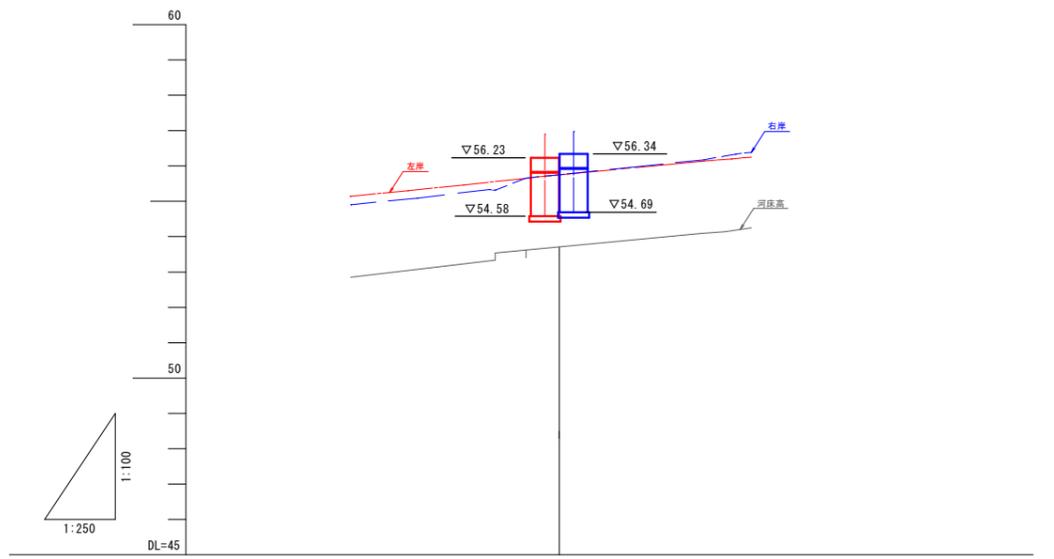
点名	X座標	Y座標	備考
C1	-183728.401	59736.644	
C2	-183746.007	59720.621	
R1	-183743.349	59741.518	
R2	-183733.063	59717.642	
A	-183737.626	59728.248	
B1	-183741.372	59726.192	上部工躯体角
B2	-183740.535	59724.249	"
B3	-183734.790	59732.182	"
B4	-183733.953	59730.239	"

平面図 S=1:250



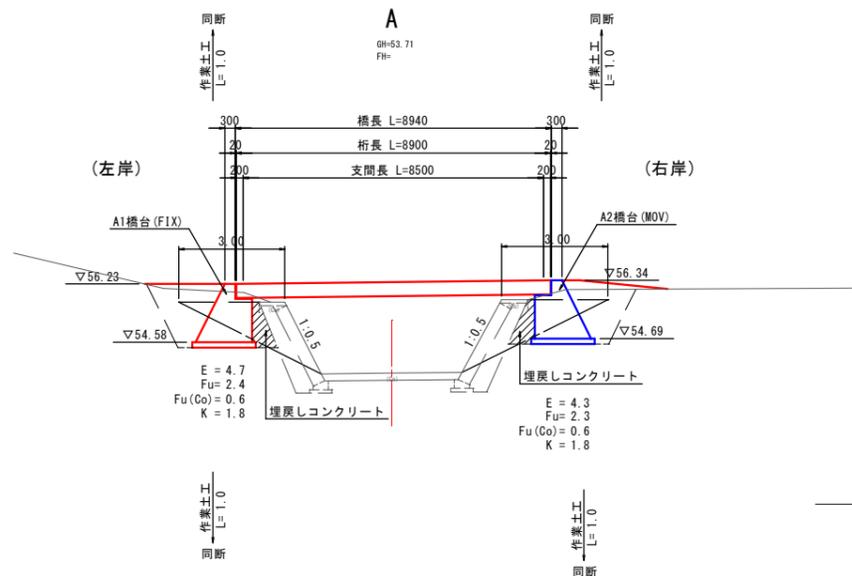
※ 砂防指定地の範囲は広島県DoboXより転写

縦断図 V=1:100
H=1:250

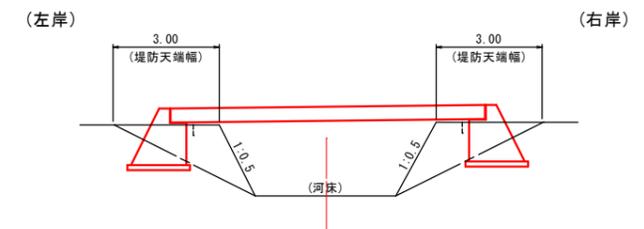


勾配図	計画護岸高	計画河床高	最深河床高	追加距離	単距離	測点

横断図 S=1:100



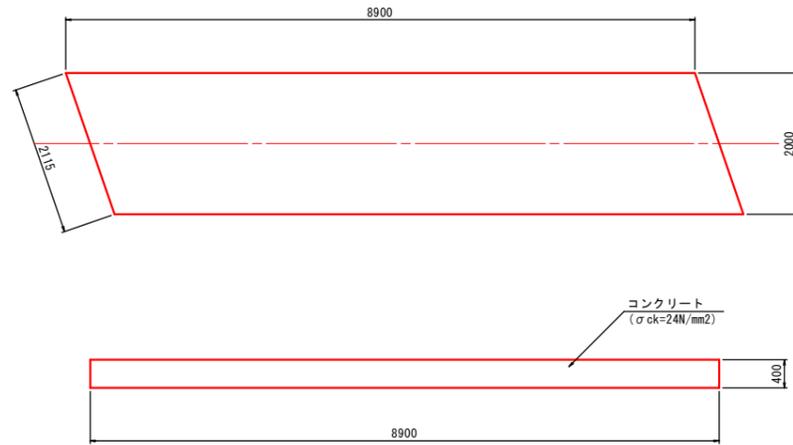
橋台根入決定根拠



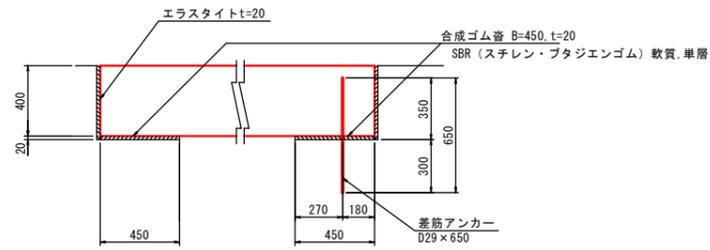
工事番号 T06-012

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-7)		
図面名	計画図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	1 / 3
会社名			
事業者名	東広島市		

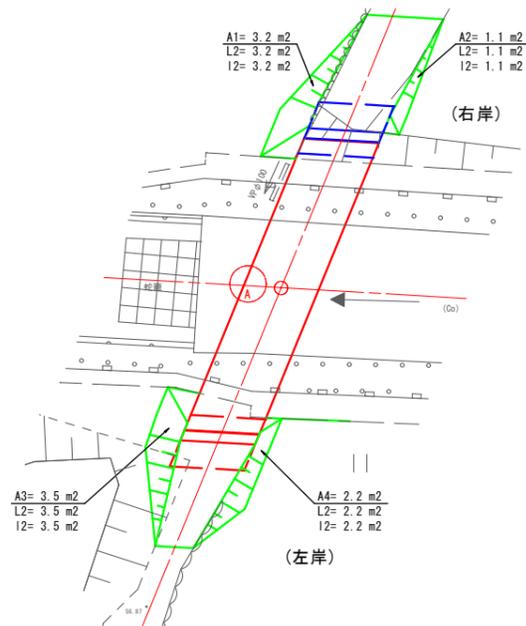
床版工 S=1:50



支承部詳細 S=1:20



法面工 (ワラ芝) S=1:100



設計条件

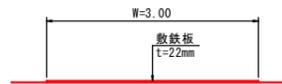
項目	単位	数値
設計荷重	群衆荷重	kN/m ² 5.0
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m ³ 24.5
コンクリート設計基準強度		kN/mm ² 24
コンクリート曲げ圧縮応力度		N/mm ² 8.0
許容応力度	鉄筋引張応力度 (SD345)	N/mm ² 100

参考図書等
 1) 道路橋示方書 平成24年3月
 2) 土木工事設計マニュアル (平成29年4月 中国地方整備局) 第3編 道路編 第5章 橋梁 第6節 鉄筋コンクリート橋
 3) 土地改良事業計画設計基準・設計「農道」

材料表 1枚当たり

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=24N/mm ²	m ³	7.120
型枠	鉄筋	m ²	23.120
エラストイト	B=420, t=20	m ²	1.777
合成ゴム沓	B=450, t=20	m ²	1.904
鉄筋	SD345 (D13)	kg	31.0
鉄筋	SD345 (D16)	kg	132.0
鉄筋	SD345 (D22)	kg	317.0
鉄筋	SD345 (D29)	kg	1253.0

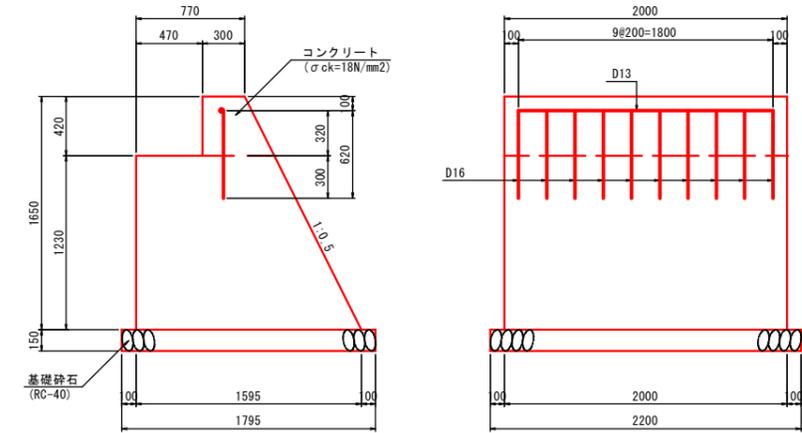
工事用道路(敷鉄板) (参考図) S=1:50



工事用道路(敷砂利) (参考図) S=1:25



橋台工 S=1:25



材料表 1基当たり

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	3.508
型枠	一般型枠	m ²	10.497
基礎砕石	RC-40, t=150mm	m ²	3.949
鉄筋	SD345, D13	kg	1.791
"	SD345, D16	kg	9.672

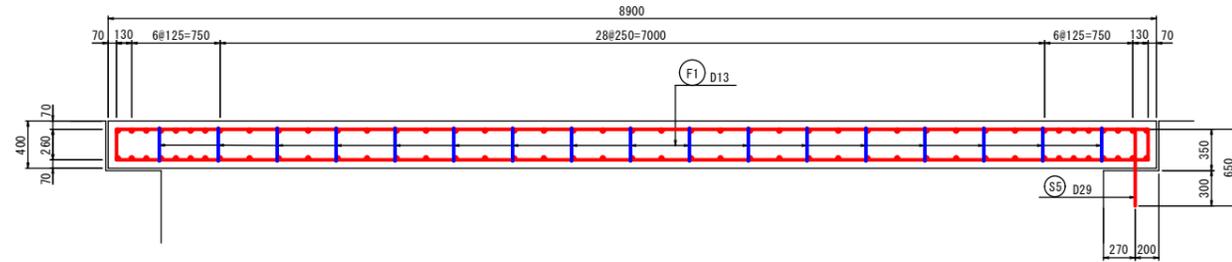
※ 床付け面において地盤の許容支持力Qa=200 (kN/m²) 以上を確認のこと。

工事番号 T06-012

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-7)		
図面名	計画図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	2 / 3
会社名			
事業者名	東広島市		

床版工配筋図 S=1:30

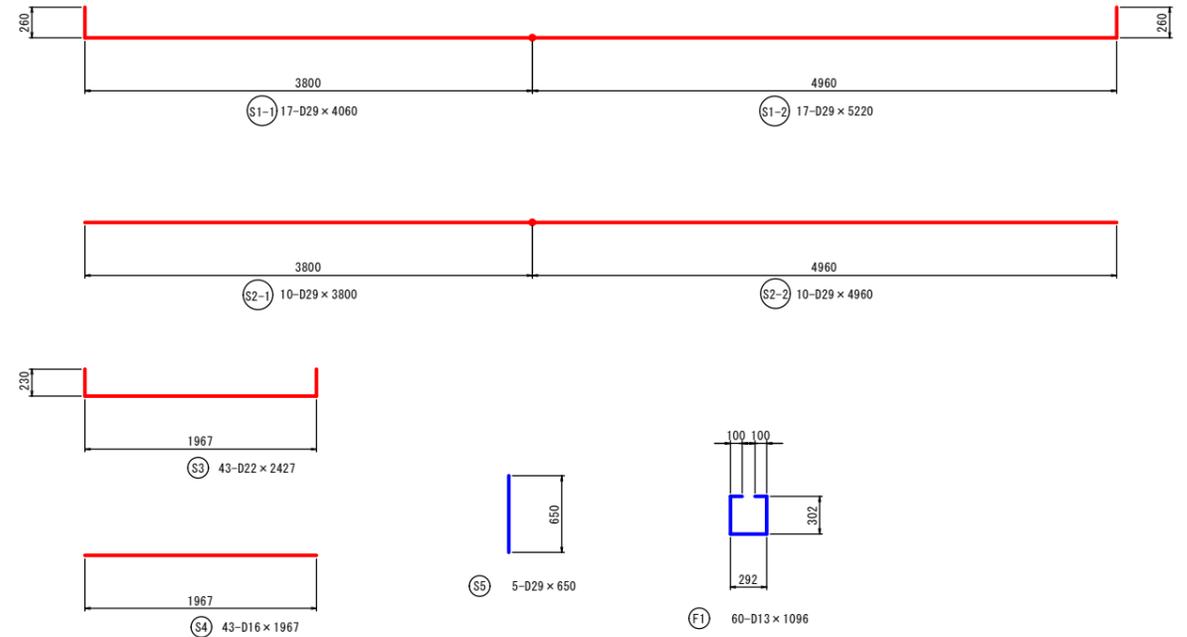
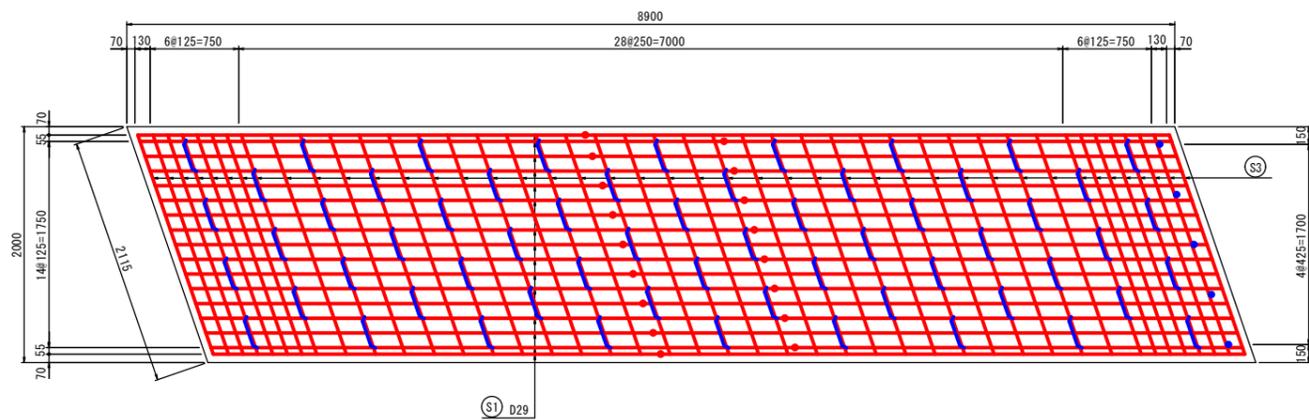
側面図



上面



下面



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	1枚当たり	摘要
S1-1	D29	4060	17	5.040	20.462	348	┌	
S1-2	D29	5220	17	5.040	26.309	447	└	
S2-1	D29	3800	10	5.040	19.152	192	—	
S2-2	D29	4960	10	5.040	24.998	250	—	
S3	D22	2427	43	3.040	7.378	317	—	
S4	D16	1967	43	1.560	3.069	132	—	
S5	D29	650	5	5.040	3.276	16	—	
F1	D13	1096	60	0.995	1.091	65	□	
合計								
総質量 D13						65 kg		
D16						132 kg		
D22						317 kg		
D29						1253 kg		
総質量						1767 kg		

工事番号 T06-012

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-7)		
図面名	計画図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	3 / 3
会社名			
事業者名	東広島市		

参 考 図 書

工事名称：令和7年度

土木施設災害復旧事業

安芸津地区災害復旧工事(7-7)

<注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束を
するものではありません。
- 3 その他
 - ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一
覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地
(一時たい積)のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
砂・砂質土・礫 質土	株式会社中岡 建設リサイク ルプラント	東広島市安芸津町 木谷 1218-7	【土木施設災害復旧事業】 5.3km

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 51 東広島市(安芸津) 00-07.05.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 02 河川・道路構造物工事 00 補正なし 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
道路土工	1	式			Y1E0101 レベル2
法面整形工	1	式			Y1E010107 レベル3
法面整形(盛土部)	10	m2			Y1E01010702 レベル4
法面整形 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	10	m2			SPK24040025 00 単第0 -0001 表
残土処理工	1	式			Y1E010110 レベル3
土砂等運搬 砂質土	9	m3			Y1E01011002 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)	9	m3			SPK24040002 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分 砂質土	9	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 (株)中岡建設リサイクルプラント	9	m3			F000000100 00
法面工	1	式			Y1E0104 レベル2
植生工	1	式			Y1E010401 レベル3
張芝 ワラ芝	10	m2			Y1E01040108レベル4
人工張芝 張芝 幅100cm ワラ付	10	m2			SPK24040033 00
床版工	1	式			単第0 -0003 表 Y1E0106 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010601 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 砂質土	20	m3			Y1E01060102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK24040015 00 単第0 -0004 表
埋戻し 砂質土	9	m3			Y1E01060103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	9	m3			SPK24040020 00 単第0 -0005 表
埋戻しコンクリート ck=18N/mm2	2	m3			Y4999 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	2	m3			SPK24040153 00 単第0 -0006 表
床版工 L8900 × B2000	1	式			Y3999 レベル3
場所打床版工 L8900 × B2000 ck=24N/mm2	1	枚			Y4999 レベル4
床版工 L8900 × B2000	1	枚			V000000300 00 単第0 -0007 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支保工 パイプサポート支保 f<=40(t<=120)	20	空m3			S0370 00 単第0 -0016 表
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場	30	掛m2			S0380 00 単第0 -0017 表
橋台工	1	式			Y1E010605 レベル3
A1橋台 (FIX) H=1.65m ck=18N/mm2	1	基			Y4999 レベル4
A1橋台 (FIX) H=1.65m	1	基			V000000100 00 単第0 -0018 表
A2橋台 (MOV) H=1.65m ck=18N/mm2	1	基			Y4999 レベル4
A2橋台 (MOV) H=1.65m	1	基			V000000200 00 単第0 -0021 表
仮設工	1	式			Y1E0115 レベル2
工事用道路工	1	式			Y1E011501 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
敷鉄板					Y1E01150104レベル4
	167	m2			
敷鉄板設置					S1050041 00
	167	m2			単第0 -0022 表
敷鉄板撤去					S1050043 00
	167	m2			単第0 -0024 表
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間13日					S1050029 00
	36	枚			単第0 -0025 表
敷砂利					Y1E01150103レベル4
	4	m2			
整地 敷均し(ルーズ) 標準(10,000m3未満) 障害無し					SPK24040003 00
	0.4	m3			単第0 -0026 表
再生クラッシュラン 40~0mm					TTPC00008 00
	0.4	m3			
土のう					Y1E01150111レベル4
	16	袋			
処理土(ほぐし) リフレ安芸津事務所					F000000200 00
	16	m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離4.0km以下(3.5km超)	10	m3			SPK24040002 00 単第0 -0027 表
大型土のう製作・設置(BH設置)	16	袋			SHD10003 00 単第0 -0028 表
大型土のう撤去 作業半径 6m以下	16	袋			SHD10011 00 単第0 -0030 表
残土処理工	1	式			Y1E010110 レベル3
土砂等運搬 砂質土	10	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)	10	m3			SPK24040002 00 単第0 -0002 表
残土等処分 砂質土	10	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 (株)中岡建設リサイクルプラント	10	m3			F000000100 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
仮設材運搬費					YZZ04001004 レベル4
	28.872	t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 2.8km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0032 表
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
簡易支持力確認試験費					YZZ06001002レベル4
	1	式			
簡易支持力確認試験費					F000000300 00
	2	回			
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

施工単価表

法面整形

SPK24040025

単第0 -0001 表

盛土部 法面締固め無し 現場制約無し

レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土

1

m2 当り

機械構成比: 12.42% 労務構成比: 75.20%

材料構成比: 12.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

433.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	12.42%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	33.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	28.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.33%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	12.38%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=2 法面締固め無し D=2 レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土		

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0002 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 24.45% 労務構成比:

63.42% 材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,943.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=28 距離6.0km以下(5.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

人工張芝
張芝 幅100cm ワラ付

SPK24040033

単第0 -0003 表

1
標準単価： m2 当り
715.14000

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 63.34% 材料構成比: 36.66% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	45.16%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.18%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
張芝 幅100cm, ワラ付	36.66%		張芝 幅100cm ワラ付		TTPC00274 TTPT00274
積算単価			積算単価		EP001
A=1 張芝 幅100cm ワラ付					

施工単価表

床掘り

SPK24040015

単第0 -0004 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 19.87%

労務構成比: 72.99%

材料構成比: 7.14%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,170.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0015

埋戻し

SPK24040020

単第0 -0005 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.48%

労務構成比: 86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,871.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0017

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0006 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比:

60.53%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

床版工
L8900 x B2000

V000000300

単第0 -0007 表

1 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	7.120	m3			単第0-0008 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	19.400	m2			単第0-0009 表
型枠 撤去しない埋設型枠 床版部	3.720	m2			単第0-0010 表
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板 t=20mm	1.777	m2			単第0-0011 表
ゴム支承-コンクリートヒンジ用緩衝ゴム- SBR(スチレン・ブタジエンゴム)軟質,単層 厚20mm	1.904	m2			
鉄筋 SD345 D13	0.065	t			単第0-0012 表
鉄筋 SD345 D16 ~ D25	0.449	t			単第0-0013 表
鉄筋工 SD345_D29 ~ D32 一般構造物 [規]10t未満	1.253	t			単第0-0014 表
ガス圧接工 手動(半自動)・自動_D29+D29 [規]100箇所未満	27	箇所			単第0-0015 表
*** 単位当たり ***	1	枚			

施工単価表

頁0 -0020

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0008 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79% 労務構成比:

35.68% 材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0009 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,352.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0010 表

撤去しない埋設型枠

床版部

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,693.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	47.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	28.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 撤去しない埋設型枠 -(全ての費用)			B=6 床版部		

施工単価表

目地板

SPK24040122

単第0 -0011 表

1工事当り使用量30m2未満

瀝青繊維質目地板 t=20mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

63.93%

材料構成比:

36.07%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,855.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚20mm	36.07%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPCD0150 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=6 瀝青繊維質目地板 t=20mm		

施工単価表

鉄筋

SPK24040334

単第0 -0012 表

SD345 D13

1

t 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 67.90% 材料構成比: 32.10% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 390,730.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	38.61%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	18.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.61%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345, D13 単位質量0.995kg/m	32.10%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4 SD345 D13			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

鉄筋
SD345 D16 ~ D25

SPK24040334

単第0 -0013 表

1 t 当り
標準単価: 390,730.00000

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 67.90% 材料構成比: 32.10% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	38.61%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	18.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.61%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345, D16 ~ 25	32.10%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPCD0072 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=5 SD345 D16 ~ D25			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

支保工
パイプサポート支保

S0370
f<=40(t<=120)

単第0 -0016 表

100 空m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.600	人			
型わく工	4.700	人			
とび工	2.200	人			
普通作業員	5.100	人			
諸雑費	15	%			#09
*** 合計 ***	100	空m3			
*** 単位当たり ***	1	空m3			
A=1 パイプサポート支保			B=1 f<=40(t<=120)		

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場
手摺先行型枠組足場

S0380

単第0 -0017 表

100 掛m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.600	人			
とび工	7.000	人			
普通作業員	1.300	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.400	日			
諸雑費	34	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=1 手摺先行型枠組足場 C=0 潮待割増			B=1	安全ネットを設置しない	

施工単価表

頁0 -0032

基礎碎石

SPK24040034

単第0 -0019 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.27% 労務構成比:

73.08%

材料構成比: 21.65%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,278.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.24%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.83%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	16.89%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

鉄筋

SPK24040334

単第0 -0020 表

SD345 D16

1

t 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 67.90% 材料構成比: 32.10% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 390,730.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	38.61%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	18.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.61%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16 単位質量1.56kg/m	32.10%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00056 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=6 SD345 D16			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

敷鉄板撤去

S1050043

単第0 -0024 表

頁0 -0038

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.143	人			
とび工	0.143	人			
普通作業員	0.143	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.143	日			単第0-0023 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100 m2 当り

施工単価表

整地
敷均し(ルーズ)

SPK24040003

単第0 -0026 表

標準(10,000m3未満) 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 22.78% 労務構成比:

50.89% 材料構成比: 26.33%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

126.86000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	22.78%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	50.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	26.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 敷均し(ルーズ) C=1 障害無し			B=1 標準(10,000m3未満)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0027 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離4.0km以下(3.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 24.45% 労務構成比:

63.42% 材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,589.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=20 距離4.0km以下(3.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)

SHD10003

単第0 -0028 表

頁0 -0042

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.278	人			1*0.278
特殊作業員	0.278	人			1*0.278
普通作業員	0.278	人			1*0.278
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 短期仮設対応(1年),令和5年改定基準適合品	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.278	日			単第0-0029 表
諸雑費	4	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=4 耐候性(短期)大型土のう(R5改定基準適合品)			B=1	土砂の計上なし	

10 袋 当り

工 事 費 内 訳

T06-012_不認定道路(橋)

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	計上数量	数 量	摘 要	
本工事費	河川土工								
		法面整形工	法面整形 (盛土部)	砂質土	m2	10	10.0		
			残土処理工	残土処理	砂質土	m3	9	8.6	
		法面工							
			植生工	人工張芝		m2	10	10.0	
		床版工							
			作業土工	床 掘	砂質土	m3	20	18.0	
				埋 戻	C	m3	9	9.4	
				〃	コンクリート	m3	2	2.4	
				基面整正	砂質土	m2	7	7.2	
			床版工	L8900×B2000	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	枚	1	1.0	
			支保工	パイプサポート支保		空m3	20	22.3	
			橋台工	A1橋台(FIX)	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	基	1	1.0	L=2.0(m)
				A2橋台(MOV)	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	基	1	1.0	〃
			足場			掛m2	30	27.2	

土量配分表

掘削土			
掘削	砂質土		m3
床掘	〃	18.0	m3
計		18.0	m3

土量変化率 0.9

盛土			
盛土B1			m3
			m3
計		0.0	m3

土量変化率 1.0

埋戻土			
埋戻	区分C	9.4	m3

残土処分			
本工事	砂質土	8.6	m3
仮設工	砂質土	13.7	m3
計		22.3	m3

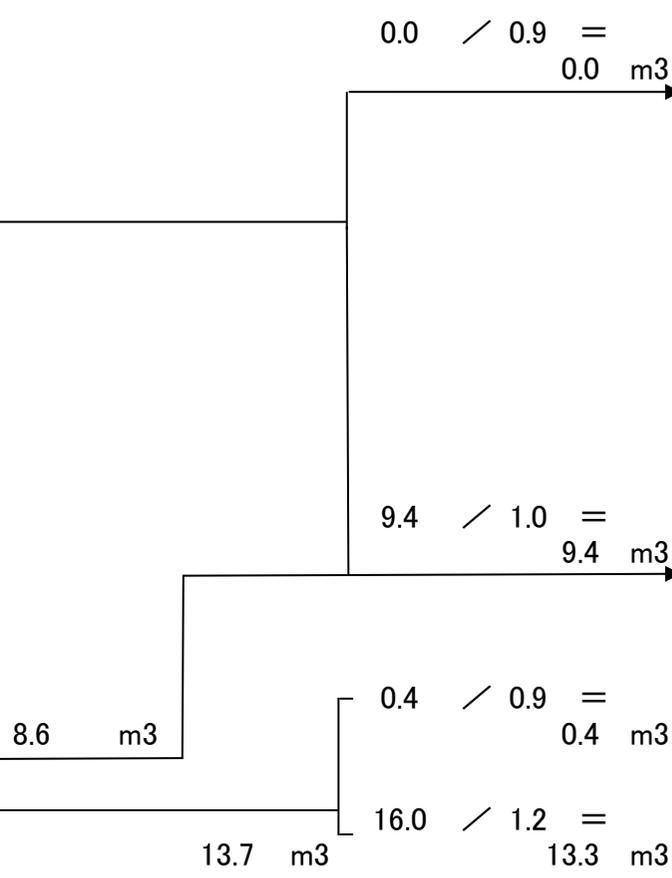
仮設工残土処分			
工事用道路	砂質土	0.0	m3
碎石		0.4	m3
大型土のう	砂質土	16.0	m3

$$0.0 \div 0.9 = 0.0 \text{ m}^3$$

$$9.4 \div 1.0 = 9.4 \text{ m}^3$$

$$0.4 \div 0.9 = 0.4 \text{ m}^3$$

$$16.0 \div 1.2 = 13.3 \text{ m}^3$$



測点	距離							盛土法面整形 I2						摘要
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	
(左岸)														
A1										3.2				
A3										3.5				
(右岸)														
A2										1.1				
A4										2.2				
合計										10.0				

測点	距離	床掘E			埋戻Fu			埋戻Fu(Co)			基面整正K			摘要
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	
(左岸)														
A1橋台		4.7			2.4			0.6			1.8			
A	1.0	4.7	4.70	4.7	2.4	2.40	2.4	0.6	0.60	0.6	1.8	1.80	1.8	
	1.0	4.7	4.70	4.7	2.4	2.40	2.4	0.6	0.60	0.6	1.8	1.80	1.8	
(右岸)														
A2橋台		4.3			2.3			0.6			1.8			
A	1.0	4.3	4.30	4.3	2.3	2.30	2.3	0.6	0.60	0.6	1.8	1.80	1.8	
	1.0	4.3	4.30	4.3	2.3	2.30	2.3	0.6	0.60	0.6	1.8	1.80	1.8	
合計	4.0			18.0			9.4			2.4			7.2	

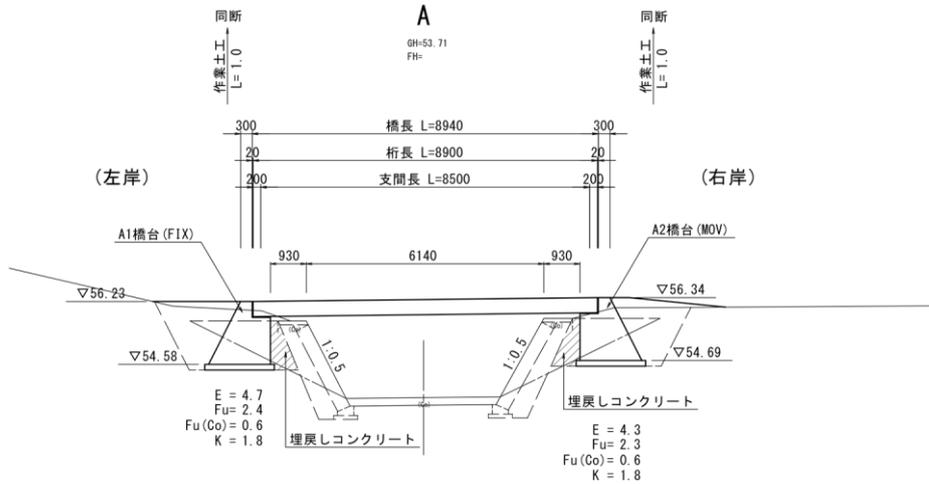
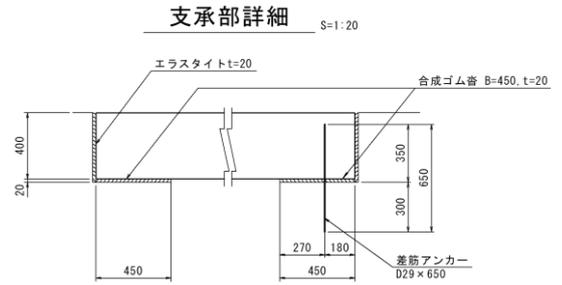
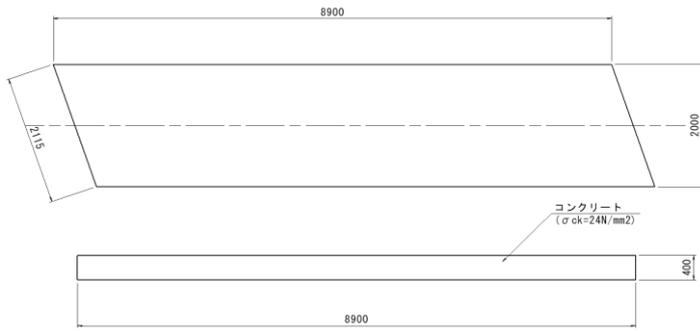
T06-012_不認定道路(橋)

仮設工(工事用道路)

計 算 書

(5 / 6)

測 点	距 離							敷砂利			大型土のう			摘 要	
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量		
右岸										4.0					
右岸													16.0		
合 計	0.0									m3 0.4	m2 4.0			袋 16.0	



種別	規格	計算式	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	$8.900 \times 2.000 \times 0.400$	7.120 m ³
型枠	一般	$(6.14 \times 2.000) + (8.900 \times 2 \times 0.400)$	19.400 m ²
	埋設型枠	$(0.93 \times 2) \times 2$	3.720 m ²
エラストイト	B=420,t=20	$2.115 \times 0.420 \times 2$	1.777 m ²
合成ゴム沓	B=450,t=20	$2.115 \times 0.450 \times 2$	1.904 m ²
鉄筋	SD345 D13		65.0 kg
	SD345 D16		132.0 kg
	SD345 D22		317.0 kg
	SD345 D29		1253.0 kg

